

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
札幌アニメ・声優専門学校	平成23年6月15日	白石 重昭	〒060-0001 札幌市中央区北1条西8丁目2-75 (電話) 011-280-5100																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人コミュニケーションアート	昭和63年3月31日	理事長 近藤 雅臣	〒550-0013 大阪市西区新町1-18-22 (電話) 06-6536-7161																								
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
文化・教養	専門課程	クリエイティブデザイン科		平成31年文部科学省告示第四号	-																						
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、文化・教養専門課程を設置し、そのもとで放送、映像、タレント、エンターテインメント、クリエイティブデザインに関する専門的知識及び技能を修得させ、もってその分野で貢献できる専門家並びに指導者の養成を図ることを目的とする。																										
認定年月日	平成27年2月17日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1,920時間	120単位時間	2,250単位時間	0単位時間	0単位時間	0単位時間																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人		15人	0人	1人	14人	15人																					
学期制度	■1学期:4月1日～9月23日 ■2学期:9月24日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験、出席状況にて評価を実施																						
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:7月27日～8月18日 ■冬季:12月21日～1月5日 ■学年末:2月21日～3月31日			卒業・進級条件	1920時間/128単位以上を修得し、卒業判定会議にて承認された場合																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・長欠者への指導等対応 ・担任制度 ・三者面談・SSC(学生相談センター)			課外活動	■課外活動の種類 学友会・学園祭実行委員会・野外活動・同好会・サークル活動等 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) ・デザイン会社 ・ゲーム会社 ・サービス業			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)																						
	■就職指導内容 ・就職対策講座 ・校内企業説明会の実施 ・就職担当個別面談 ・面接指導 ・履歴書指導 ・身だしなみ指導 他				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	色彩検定	③	10人	4人												
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																						
	色彩検定	③	10人		4人																						
■卒業生数 19 人			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																								
■就職希望者数 2 人			■自由記入欄																								
■就職者数 2 人																											
■就職率 : 100 %																											
■卒業者に占める就職者の割合 : 10.5 %																											
■その他 個人活動及びデビュー活動継続中																											
(平成 30年度卒業生に関する令和1年5月1日 時点の情報)																											
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成28年4月1日時点において、在学者39名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において、在学者1名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由			■中退率 2%																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 グループ姉妹校含む兄弟姉妹入学者の一部減免 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、たとえば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.sba.ac.jp">http://www.sba.ac.jp</a>																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基「教育課程編成委員会」は、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫を行うなど、企業様の要請に応じた職業教育が行われていることを評価していくものであり、企業等と密接かつ組織的な連携体制を確保して、演習、実習、実技を実施する。企業等の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育が主体的に実施されていること方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成は、理事会のもとに設置された教育課程編成委員会において検討した内容を、十分に考慮した上で、学科会議において編成を行なうものとし、委員会の適切な運営は理事長が担保することとなっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
白石 重明	札幌アニメ・声優専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
清水 敬博	札幌アニメ・声優専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
布村 展行	札幌アニメ・声優専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
津田 祐太	札幌アニメ・声優専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
市川 貴子	札幌アニメ・声優専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
尾鷲 祐介	札幌アニメ・声優専門学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
いがらしなおみ	社団法人日本漫画家協会会員	平成31年4月1日～令和2年3月31日	①
大野 拓家	株式会社ラグタイム	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
熊谷 まさひこ	株式会社クリエイティブオフィスキュー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
海野 清和	株式会社ジャイブプロモーション	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③
加藤 学	株式会社モンスターデザイン	平成31年4月1日～令和2年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

委員会として年2回の開催を予定しており、前年度開催日時は以下の通り。また別途、委員企業との個別の討議は随時開催。

(開催日時(実績))

第1回 平成30年9月19日 13:00～16:30

第2回 平成31年2月6日 13:00～16:00(卒業研究審査会含む)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況  
 毎年2回実施している教育課程編成委員会では、各専門分野に分かれて分科会という形で実施しており、ここでは専門的な業界知識の向上や、現状の業界に対しての教育力を高めるためのご意見やご要望をいただいている。ここでいただいたご意見やご要望に関しては、即対応できるものから、時間をかけて取り組むべきことまで様々なものがあるが、本校の教育理念に照らし合わせて活かすべきことは積極的に取り入れている。これはカリキュラムだけに留まらず、人間教育やキャリア教育の面にも反映される。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

3つの教育理念(実学教育・人間教育・国際教育)を掲げ、業界が求める人材を業界と共に育成する(産学連携教育)という考え方のもと、業界の方から直接学生が目指す職業に必要な知識・技術を指導している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記  
 実習・演習は、連携企業と協定書等を交わした上で、業界から派遣される業界のプロが非常勤講師として指導を行っている。また、カリキュラムのひとつである「企業プロジェクト」は提携した企業から課題をいただき、業界人である非常勤講師がその指導を行い、実践の中から即戦力を身につけるための実習である。その実習・演習の評価は、その過程を通して、実践的な力を身につけているかどうかという視点で判断し、総合的な評価を行っている。またインターンシップ(業界研修)を実施し、企業の担当者の指導のもと、現場体験を深め、さらなる即戦力としての技術・知識等の習得を行っている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ADデザイン	広告業界で仕事をするために必要な知識から広告宣伝までを体系的に習得する。	Hiroe DESIGN

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園が定める教員研修規定においては、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めている。平成28年度には、中途退学者防止に向けた「学生ひとり一人」に対する対応策の企画・立案・評価というPDCAサイクルを展開することを年間の教育活動の中心に据え、ファカルティ・ディベロップメント活動を推進する専任教員に対し、以下の二つの要素が年間を通じた授業内容に反映されるよう研修を行った。

- ① キャリア教育の視点
- ② ひとり一人を見ていく視点

さらに、専任教員と兼任教員で組織する講師会議において、この方針を共有し、授業内容のチェック、教育技法改善に向けた研修を実施している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

平成30年度は、専攻分野の研修に関しては、実務スキルの向上と、人材育成力の向上のために、業界主催の研修やセミナーに積極的に参加している。以下はその一部である。

■G-DREAMS ゲーム関連企業合同企業説明会 ■東京ゲームショウ 他

②指導力の修得・向上のための研修等

JESC主催のもと、一般教員を対象とした研修として、一人ひとりの学生に向けた適切なカウンセリング・キャリア相談、また個々の課題解決に向けた支援、アドバイス等が行えるよう『JESCキャリアサポートアンケート勉強会(H30年7月)』、行動規範を振り返り組織人としてのアイデンティティの確立を目指す『フォローアップ研修(H30年11月)』、キャリア教育の意義や必要性をより深く学ぶ『キャリア教育アドバンス研修(H30年12月)』等を実施。また、学科長クラスを対象とした研修として、学生変化に沿った教授法を学ぶ『FDミクロレベル研修(H30年7月)』、そしてより教育システム開発の基礎を学び自校の教育戦略のマネジメントを学ぶ『FDミドルレベル研修(H30年7月)』、学校運営に関する必要な知識の習得を目指す『マネジメント研修(H30年10月)』、研究発表・教育部会活動報告を行う『滋慶教育科学学会(H30年12月)』等を実施。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

令和1年度も専攻分野の研修に関しては、業界主催の研修やセミナーに参加して、実務スキルの向上と、人材育成力の向上のため積極参加し研鑽する予定である。以下は前年度に引き続き参加予定(一部実施済み)のものである。

■G-DREAMS ゲーム関連企業合同企業説明会 ■東京ゲームショウ 他

②指導力の修得・向上のための研修等

令和1年度もJESC主催のもと各種研修を計画している。一般教員を対象とした研修として、滋慶グループを知り自分らしさを活かして仕事を楽しくすることを目的とする『新入職者研修(H31年3月)』、適切なカウンセリング・キャリア相談を行い、課題解決に向けた支援ができるアドバイザーの養成を目指す『進路アドバイザー研修(R1年6月)』、学生や保護者への対応向上を目指す『教職員カウンセリング研修(R1年9月)』、行動規範を振り返り組織人としてのアイデンティティの確立を目指す『フォローアップ研修(R1年11月)』を計画。また、学科長クラスを対象とした研修として、学生変化に沿った教授法を学ぶ『FDミドルレベル研修(R1年5月)』、事務局長・教務部長クラスを対象として、教育システム開発の基礎を学び自校の教育戦略のマネジメントを学ぶ『FDマクロレベル研修(R1年5月)』、学校運営に関する必要な知識の習得を目指す『マネジメント研修(R1年10月)』、研究発表・教育部会活動報告を行う『滋慶教育科学学会(R1年12月)』を計画している。さらに、JESC主催以外の研修として、滋慶COMホスピタリティ研修センターによる学生にホスピタリティ・マインドを持ってもらうための教育をコーディネートし指導をするホスピタリティコーディネータを養成するための『ホスピタリティコーディネータ研修(R1年6月、R1年10月)』も計画している。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を(以下「評価委員会」という)を置く。評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育人人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	海外実学研修および海外専門留学

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会は卒業生、保護者、高等学校、地域、業界のそれぞれの関係者で構成されているが、この委員会の開催は、まさに本校が掲げる「4つの信頼」(学生・保護者からの信頼、高等学校からの信頼、産業界からの信頼、地域からの信頼)を実行していくうえで、有意義な意見をいただける極めて貴重な機会である。ここでいただいた評価委員の意見を参考にしながら、4つの信頼の継続的獲得を目指して、学校運営の更なる向上に努めている。今後も引き続き関係者評価を仰いでいくものとする。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成〇年〇月〇日現在

名前	所属	任期	種別
中野 紗千	卒業生代表 マンガ家・デザイナー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	卒業生
村上 睦美	学生保護者	平成31年4月1日～令和2年3月31日	保護者
市田 潤	クラーク記念国際高等学校	平成31年4月1日～令和2年3月31日	高等学校関係者
塚本 澄雄	中央地区第4町内会	平成31年4月1日～令和2年3月31日	地域関係者
熊谷 まさひこ	株式会社クリエイティブオフィスキュー	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
大野 拓家	株式会社ラグタイム	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ上で、毎年10月末までに結果を公表

URL:<http://www.sba.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会において、評価項目の添付資料として「事業計画書・収支予算書」を閲覧に供すことで、教育活動から学校運営の情報が提供できるものとする。また、業界関係者である非常勤講師と教職員との間で開催する講師会において、教育活動から学生情報や学校運営に関する情報を提供していくものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の理念／校長名、所在地、連絡先／学校の沿革／その他の諸活動に関する計画
(2) 各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針、定員
(3) 教職員	卒業の認定に関わる方針／卒業と同時に取得する称号／卒業生の主な就職・デビュー契約
(4) キャリア教育・実践的職業教育	教職員数／授業計画(シラバス)
(5) 様々な教育活動・教育環境	キャリア教育への取り組み
(6) 学生の生活支援	校舎設備紹介
(7) 学生納付金・修学支援	中途退学防止への取り組み・健康管理
(8) 学校の財務	学費一覧、諸費用について／奨学金サポート
(9) 学校評価	収支計画書又は損益計算書/貸借対照表/財産目録
(10) 国際連携の状況	学校関係者評価結果
(11) その他	留学生支援、留学生の受け入れ状況、外国の学校等との交流状況外国の学校との交流状況

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ上で、毎年10月末までに結果を公表

URL:[http://www.ssm.ac.jp/school/public\\_info/index.html](http://www.ssm.ac.jp/school/public_info/index.html)

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 クリエイティブデザイン科 昼間I部) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			英会話	国際社会に対応すべく、コミュニケーションを取る為の英会話をネイティブスピーカーより学ぶ。	1通	60	4	○			○	○			
○			IT(Information Technology)	Eメール、インターネット、ホームページ作成を中心にコンピュータの基礎を学び、標準的なアプリケーションを学び実践する。	1通	60	4	○			○			○	
○			コミュニケーションスキル	人間関係づくりのツールとなるコミュニケーション能力の習得及び向上を目的に、自己表現・社会的スキル、サービスマインド等を体系的に学び、社会人として柔軟に活用できることを狙いとしている。	1通	60	4	○			○			○	○
○			クリエイター基礎	線や明暗、調子などでバランスや質感、量感物体の形をとらえ、表現することを習得する。	1通・2通	120	8	○			○				○
○			コンセプトワーク	企画立案にはしっかりとした考え方や方向性(コンセプト)が重要となります。アイデアフラッシュによる発想と企画力をトレーニングする。	1通・2通	120	8	○			○				○
○			デザインベーシック	平面構成と色彩構成について、構成要素を使い効果的に整理配列する理論や構成技術を効果的に学びます	1通	120	8	○			○				○
○			グラフィックデザイン	人物のデッサンの基礎からデフォルメしたキャラクター作りのテクニックを習得する。	1通・2通	120	8	○			○				○
○			イラストレーション	透視図や背景、建物、車、植物など、出来る限り多くの事物の描き方を学ぶ。	1通・2通	120	8	○			○				○
○			雑誌編集	企画立案/編集会議/取材/プロモーションをおこない、オリジナルマガジンの制作過程を学ぶ。	1通・2通	120	8	○			○				○
○			シナリオライティング	テーマの設定やストーリー構成・演出方法などを多彩なメディア作品を通じて学びます。さらに、物語の構成やキャラクターの成り立ちまで学ぶ。	1通・2通	120	8	○			○				○
○			マンガ制作	漫画制作に必要な知識を実際のマンガ制作を通じて習得する。	1通・2通	120	8	○			○				○
○			表現技法	デザイン理論や構成技術を用い、より実践的に課題に取り組み、デザイン力を養う。	1通・2通	120	8	○			○				○

○	投稿作品制作	アニメーション制作に関わる技術を秋冬する。	2通	120	8	○	○	○
○	ポートフォリオ制作	就職・デビュー活動に用いるポートフォリオの制作を行う。	2通	120	8	○	○	○
○	イベント制作	投稿用作品を通じて、作品の制作力を習得する。	2通	120	8	○	○	○
○	印刷実務	印刷業界で仕事をするために必要な知識から、レイアウトの仕方、版面の制作までを学ぶ。	2通	120	8	○	○	○
○	就職対策講座	産学連携教育システムの一環として、業界からの依頼に応え、活動・作品制作を行い、即戦力を養う。	2通	4	60	○	○	○
○	業界研修	就職対象者は最高学年次に各業界の現場で実際の仕事を体験し、就職への大いなる自信する。	2通	120	8	○	○	○ ○
○	制作演習	1年間、2年間の学習の成果をイベント制作を通じて発表する。	1通・2通	240	16	○	○	○ ○

卒業要件及び履修方法						授業期間等		
(履修時間数) 1単位時間=45分で、1コマ90分の授業を各期15コマ履修を基本とする。(※1コマ=2時間換算) (単位認定) 授業時間数÷15時間=科目の単位数年間習得単位数(基本)は、1学期:15コマ×2単位×2学期=60単位(900時間) ※既定の評価及び出席率を満たしている科目について、単位認定とする。 (進級・卒業認定) 進級認定:各年次の合計修得単位数が57単位以上 卒業認定:2年間の合計修得単位数が130単位以上						1学年の学期区分		2期
						1学期の授業期間		15週